

真宗門徒

和田
稠

目次

真宗門徒の生活

1

私の歩み

41

真宗門徒の生活

何が決断させたか

住職修習の講師のご指名をあずかり、「真宗門徒の生活―帰依^{きえ}三宝^{さんぼう}―」という題をいただきました。

住職修習は、住職としての信念の確立、住職のつとめと宗門^{かみ}荷負^{かみ}の責務の自覚を深めることを目的として、住職並びに教会主管者の候補者を対象に行う、としています。特に住職候補者が帯同の総代とともに、真宗同朋会運動の願いとその歴史、これは先ほど、参務さんから概略お話がございました。そして、その次が帰依三宝の精神と、そして現代における真宗寺院の存立の意義と、こういう三つが掲げられておるわけです。まあ直接にはそれを「真宗門徒の生活」、そういうことで話をせよということなんです。

まず、皆さん方は今日、この修習を終わりましたして住職の任命を受けられるわけ

です。先ほどの班別座談会に参加させてもらいまして、そこでいろいろお話を承^{うけたまわ}っておったんですけれども、その時申しましたのは、こうしてわざわざおいでくださったことは、非常に私としては複雑な気持ちがありまして、一つは今日の日を迎えられたことを「おめでとうございます」と、こう申したい気持ちと、それから「これからご苦労さまでございますなあ」という気持ちとですね、それが同時にあるわけです。

そして今日またここで皆さん方のお顔を見ておって新たに思うことはですね、私はこの住職修習に何故^{なぜ}参加をする気になったのかということをお聞きしたいとおっしゃってくださいました。そうしたら大部分の方は前の住職が亡くなったとか、それまでおじいちゃんがやとつたのが、ご用に耐えられなくなったとか、それでまあ私の出番がやってきて、ここへやって来たというお方が相当ございました。

それぞれ皆さん方のご事情がある。なかには、この機会を待ち構えていたと、

勇躍して参加なさった方もないわけでもないですね。そうかと思うとそういう積極的なものではなくて、まあ今言いましたようないろいろな状況のもとで消極的な意味で来た。あるいは、私は嫌で嫌でどうもならんのやけれども、もう総代の方やら皆が、あんたはお寺に生まれた以上お寺を継がなければならぬと、そう言われて何だかスッキリせんままでやって来た。いろいろあると思うんです。

ところが事情はどうあれ、ともかく皆さん方はここまで出て来られたということとは、自ら決断しておいになった。このことに間違いはないですね。周囲の事情からやむなく来たとか、いろんなことがあってこういうことになったとか、そういうものはご縁というもので、本当にいやなら蹴っ飛ばしておけばいいんです。ところが、ともかく来られたということは、ご自分が決断なさったということであらうと思うんです。

決断して来ておりながら、それが何か私の本当に望んでおったことでない、いろいろな事情から来た、こういうことは答えにならないのですね。ともかく、ど

うあろうと小さい子供ではありませんから、自分で電車に乗ってここまで来られたんですから、それは消極的であろうが、積極的であろうが、ともかくご自分で決断なさって来られた。

そういうことを思いますと、本当にようこそ決断してくださいましたなあと、お礼が言いたいです。本当にようこそここへ来る決断をしていただいた。そして、そのことを支えてくださった総代の方々によく出て来てくださいましたと、お礼を申し上げたい。そういう気持ちでいっぱいでございます。

ところが、もうひとつその決断したということは確かに決断したんだけど、その決断した理由が必ずしもはっきりしていないということがあるのではないか。私が嫌だしたらこのお寺はどうなるんだろう。私が最後まで嫌だといったら、ご門徒の方はどうなるんだろうとか、決断はしたけれども何故決断したのかというその理由が、本当に納得できない限り、決断が決断にならないと思うんですね。決断しながら何かすっきりしないものがやっぱり尾を引いていく。

そういうことを私が批判をしたり、それはおかしいと、そんなことを言うつもりではございません。何が皆さん方を決断させたのか。それから、決断しながらそのことにもうひとつすっきりしないのは何なのか。そのことをご一緒に考えていきたいと、そう思って来たわけです。

別に私は皆さん方に住職になられる心構えを説きに来たわけではありません。住職になられるにはこういうことでなければなりませんと、そんなことをお説教しに来たわけではありません。

大谷派なる教団とは

皆さん方がよくよくの思いでやって来られて、なおいろんな問題がある。その問題は同時に住職を三十年やってきて、私自身は前住職と言われておりますけれども、その現在の私とまったく同じ問題を引きずっておられるわけです。ですか